

質問

## 少子高齢化対策どう考えているか

村長



【萩野芳紀議員】

### 福祉・子育て支援は手厚い

#### 財源確保はどうするか

村長が掲げている移動販売車ともリンクする問題であるが、免許を返上してしまって移動外出に困ってしまう。結果、ためらい、事故に繋がる、まさに負のスパイラルということで、最近は社会問題になつていい。

福社タクシー券は、障害者的生活を支援する目的なので、交通弱者のためのものではない。この範囲を拡大するということになれば、趣旨が違つてくるので無理だと思います。

村としても、免許返上を促すための、バス無料券の助成などできないものか。障害者手帳所持者に福祉タクシー券を交付しているが、交付対象者の範囲を拡大できないものか。私は、消費税増税分を財源とした子ども・子育て支援が行わるが、村独自の政策は、

萩野議員  
上小阿仁村は、5月末の人口が2284名、65歳以上が1171名、高齢化率51・3%と、県内一となつていて、団塊の世代と言われる私達の世代が65歳から75歳前後であり、我が村の人口構成においても非常に多い割合である。この世代の人達、さらにはそれ以上の年齢の人達、特に一人暮らしの女性が、外出に非常に苦労しているという事実である。いわゆる交通弱者というこ

村長  
免許を返上すると困つている、ただそれが何に困っているのか分析が必要である。買い物に困つて困つているのか、通院やレジヤーなのか、ニーズを把握しなけ

れば、それなりの答えは出せないと思う。バスの無料券だが、果たして大盤振る舞いをして村が成り立つか疑問である。

村では、保育園から中学まで、給食費は無料になっているので、アピールする力はあると思う。村独自の政策も子宝祝金など、たくさんある。子育て支援は手厚くなっているし、私は、村で子育てる環境はいいと思う。しかし、これからは財源をどうするのか、みんなで考えなければならぬことなことであるが、それでは簡単



健康長寿を誓った老人クラブ総会（6月19日）

### 子育て支援等に関する村の事業（5月1日現在）

子宝祝金制度、すこやか子育て支援事業、保育料補助金交付事業、チャイルドシート無償貸出・購入費補助金、福祉医療制度（マル福）、延長保育事業、一時保育事業、子育てファミリー支援事業助成金、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）、地域活動組織育成事業補助金、集落で設置する遊具等設置費補助金、妊婦健診受診票等の交付、乳幼児健診、5歳児健康相談、未入園児交流会（ひよこの会）、フッ化物洗口推進事業、定期予防接種の無料接種券の発行、任意予防接種の接種費用の一部補助（インフルエンザ）、不妊治療、不育症治療費助成事業、高校生海外研修事業、新入学児童生徒に対する補助事業、各種検定料助成事業、児童生徒各種大会出場費補助金、奨学資金貸与、小学校通学費補助、学校給食費補助

## 質問

## 保護者からの要望

村長

任期中には建設してあげたい



【佐藤真二議員】

## 保育士の正職員増員

**佐藤議員** 保育士、保育補助、調理補助、清掃員、現在14名体制で運営しているが、保育士10名のうち、園長含めて5名が正職員、他の保育士5名は臨時職員である。村長は就任の挨拶で、「職員の働き方改革を推進し、同一職種、同一賃金を理念とする」と述べている。臨時職員の保育士を正職員にする方策を構築し、できないものか。

**佐藤議員** 私は敢えて全員とは言わないが、頑張つて、できないものか。

これまで幾度となく検討されてきているが、解決されずにになっている懸案事項だと認識している。同じ条件で働きながら、待遇に差がついていることは充分承知しており、不満が無いとは言えないはずである。しかし、公務員試験もしないで面接採用とは、中々できないのが実情である。

特に、現役の中から人選するとなると、大変難しい問題である。今年度は、処遇改善を目的とした期末手当を予算化し、できる範囲で改善していく。また、令和2年度から臨時職員の名称が変わり、会計年度任用職員となり、1年間の契約となる。

これまで幾度となく検討されてきているが、解決されずにになっている懸案事項だと認識している。同じ条件で働きながら、処遇に差がついていることは充分承知しており、不満が無いとは言えないはずである。しかし、公務員試験もしないで面接採用とは、中々できないのが実情である。

特に、現役の中から人選するとなると、大変難しい問題である。今年度は、処遇改善を目的とした期末手当を予算化し、できる範囲で改善していく。

これまで幾度となく検討されてきているが、解決されずにになっている懸案事項だと認識している。同じ条件で働きながら、処遇に差がついていることは充分承知しており、不満が無いとは言えないはずである。しかし、公務員試験もしないで面接採用とは、中々できないのが実情である。

特に、現役の中から人選するとなると、大変難しい問題である。今年度は、処遇改善を目的とした期末手当を予算化し、できる範囲で改善していく。

## 建て替えの考えは

村長

いる臨時職員が、いつか職員になれる可能性があるなら、そういう夢を持つ仕組みを作つて、中田村長であれば新たな政策ができるのでは。

試験をやらないで公務員を採用するとなれば、何か特殊な条件がなければ私は無理だと思う。何故か

と言えば、その人だけが特殊でないし、新しい人も、当然、試験を受ける権利がある。今の経営状況を見る

親の会からも修繕等の要望があつた。全部精査すると、将来的には建て替えが必要だと思うが、

村長は現状の保育園を見て、どう感じているのか。

もう35年は経過していると思つている。そろそろ建て替えの時期にきていいという認識は持つている。

できれば、私の任期中には新しい保育園を建設してあげたいと考えている。

臨時職員の処遇について

佐藤議員

私は

正職員増員です

から、全員とは

言つていません。

ただ、保育園の

先生方が頑張つて、ずっと臨時でやつてている。

必要だと思うが、

親の会からも修

繕等の要望があ

つた。

全部精査

すると、将来的

には建て替えが

必要だと思うが、

親の会からも修



# 研修レポート

齊藤 鉄子 記

この度、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、8年が経過しましたが、復興状況など村再生に向けた取り組みについて視察しました。

高速自動車道で川内村ま

での道中、まだ帰還困難地帯の荒れ果てた廃墟となつてゐる家屋や土地、また、

除染した廃棄物の入つてゐる沢山の黒い大きな袋や、高速道で表示されていた放射能測定値などを目の当たりにして、今までテレビ、新聞などで見たり聞いたりするのとは違ひ、現実の世界にただショックを受けました。

川内村は、震災後の翌年には避難解除の地域もあり、全域解除となつた平成28年

には、震災前に比較して66%。今年の6月1日現在で80・6%の方が村で生活しているようですが、ただ若年層の帰村が少なく、定住を促進させるため、いろいろと対策をとられていました。

ひとり親移住への補助金、新築住宅助成、企業誘致、賃貸アパートを建設するなどしてきましたが、50歳未満の帰村率は67・02%で、まだまだ課題が多いそうです。

また、農業部門の水稻作付が、震災前には495戸、280ha、平成30年には79戸、204haとなり、ソバの作付けも65haから58haまで減少しているところで



村の取組について説明を受ける



東松島市震災復興伝承館

（リンドウ）も復活し栽培されているそうです。

2016年からワインぶどう栽培、生食用ぶどう栽培にも取り組み、新たな農業、産業振興、雇用の場の確保、地域交流の拡大をめざしていました。

畜産部門では、畜産農家（肉用牛）が40戸から8戸に激減し、乳用牛は1戸と

川内村へは、国から手厚い復興支援金が出ておりました。生活環境を取り戻すため、インフラ整備など復興は進んでおりました。農業にも補助金があるようでした。

しかししながら、ただ一瞬の出来事が及ぼす計り知れない影響の大きさ、普通になるには、これから何十年かかるか分からないことを思うと、当たり前に村で普通に暮らしていることの有り難さをしみじみと感じさせられた研修でした。

業にも補助金があるようでした。

# 福島県双葉郡川内村を訪ねて

## 研修レポート

伊藤 秀明 記

川内村は、福島県の浜通りに位置し、平成23年3月11日、マグニチエード9.0という国内観測史上最大の巨大地震に見舞われ、避難指示を余儀なくされた地域であります。特に東京電力福島第一原子力発電所の事故により生活環境が一変し、現在は約8割、2095人の方々が戻つて、村の生活を再開しているとの事でありましたが、高齢化が41%近い状態で、これからは若年層の帰村を促す事業

に取り組み、新たな農林業の確立と産業づくりを推進し、定住人口・交流人口を増やす目的で「第5次総合計画」を策定。令和元年度では25億5千万円の予算を投じ教育環境を整備し、子育て世代の帰村や移住を促すため、小中一貫校と認定こども園を併設建設することになりました。

これから上小阿仁村が取り組むであろう、保育園料・給食費、小中学校の給食



総合連携施設「ゆふね」を見学



小名浜地区集落の震災語り部(防災施設を見学)

一方で高齢者対策はと言えば、保健・医療・福祉・介護を連携する目

的で保健福祉課、国保診療所、地域包括支援センター、社会福祉協議会が一緒にに入る総合連携施設「ゆふね」を平成12年に開所し、居宅介護支援事業（ケアプラン）、

居宅訪問介護事業（ホームヘルプ）、通所介護事業（デイサービス）、支援事業（サポート・サロン）、診療所エリア、（医科・歯科ほか）が総合的に設定・整備されており、村内週2回程度、村営の送迎バスを運行し各集落を巡回し、切れ目のない支援をしている（保健師4名）のことでした。

また川内村さんの視察応対につきましては、議会事務局と村議会議員の大半が参加してもらい、誠にありがとうございました。1日も早い全員の帰村をお祈りいたします。

今回の研修で震災前（平成22年）は、川内村と上小阿仁村は、明治22年町村制

施行、人口、面積（山林含む）、財政規模が類似しており、これから上小阿仁村で取り組む課題を先行していくことから、大変参考になりました。

対につきましては、議会事務局と村議会議員の大半が参加してもらい、誠にありがとうございました。1日も早い全員の帰村をお祈りいたします。

# 今後の定例会日程予定表

区分	会議名	開催年月日	曜日	会期
9月定例会	議会運営委員会	令和元年8月30日	金	
	開会	令和元年9月5日	木	15日
	閉会	令和元年9月19日	木	

## むらのわだい

### イングリッシュ・キャンプ ALTと異文化を体験



上小阿仁中学校のイングリッシュ・キャンプが7月5日、6日、集住型宿泊交流拠点施設「コアニティ」で開かれました。

同キャンプは、ALT（外国語指導助手）の先生たちとの会話を通し、英語や異文化への関心を高めることを目的に毎年開催。中学校生徒37人と上小阿仁小中学校のホアン・マイケル先生をはじめ、北秋田市、にかほ市のALT3人が参加し、ゲームや自国の文化を紹介するなどして交流しました。



### 議会を傍聴してみませんか



次回の定例会は9月5日開会予定です。6月定例本会議の傍聴者は8人でした。

委員長  
副委員長  
北萩齊河武  
林野藤村石  
義芳鉄良辰  
高紀子満久

### 編集委員



(河村記)

村や議会に対するご意見、ご要望は、議員又は事務局へ、お気軽にお話しください。

お知らせしました。  
7月末までの議会及び議員活動を「みどり」を通して皆様に

日々を過ごしております。  
全てが初めてで、無我夢中の

諸会議、研修会、大会等へ出席させていただきました。

暑中お見舞い申し上げます。  
議員になり、3ヶ月が経過しました。

### 編集後記